記憶の報道

なるへそ新聞内容充実

思い出はニュースだ

西成なるへそ新聞社(大阪市西成区)は三月末同紙の創刊を発表した。西成区で芸術活動を展開するブレーカー・プロジェクトとの共同企画によって生まれたこの独創的な新聞は、地域に住む人々の記憶を頼りに「西成の今昔」を新聞紙上に街の風景として再現して行く。一つ一つの記事は紙面上にある家や区画の様に扱われ、街の変化同様新しい記事を入れる際には古い記事を切り取って取り壊し、少しずつ時間をかけて記事が差し変わって行くというユニークな形式だ。人が人に話を聴き、手作りで遺していく「手書き」の新聞。個人的な思い出話を、それが何年前のものでも新聞記事として現在の事のように扱うことで新旧の家々やそこに住む人々の記憶が入れ子の様に混在するリアルな都市の姿をこの新聞は体現すると、同紙編集長山田亘氏は語る。同社は一般参加の記者を公募中。参加する記者達の取材の過程そのものが人から人への歴史の橋渡しともなっていく。

なるへそ記者

「西成なるへそ新聞」は新規の記者を広く募集している。忘れる事の出来ない大きな戦争体験ですら徐々に個人のディティールを失って単なる「歴史の一ページ」となって行く現在、この街に住む人々の生きて来た記憶が気づかない内に消えていってしまう前に、出来るだけ多くの方々から「暮らしの体験談」を聞き出していただきたいと同社広報の村田仁氏は語る。時空間を奪く街の移り変わりの姿を一緒に作っていく「なるへそ記者」には報道腕章とメモ等が支給される。年間を通しての参加から、数回や一回限りでの参加も可能だ。

発行:西成なるへそ新聞社
ブレーカープロジェクト実行委員会
発行人:山田亘
編集:ブレーカープロジェクト実行委員会 村田仁 山田亘
図案:村田仁

芋洗い市場

買い物客で賑わう今池公認市場。五五店舗の一つである西野青果では、この度四代目の芋洗い機を導入した。同機はじゃが芋や里芋を洗浄しながら皮を剥くもので戦後になってから導入を始めた。当初は大型だったものが小型化されて処理能力も劣ることはない。じゃが芋二十kgを五分で、里芋なら十分程で処理できる。作業は二代目西野忠信(33)さんの朝の仕事だ。特に里芋は手剥きをすると痒くなるので調理がし易いと好評だ。機械は他に豆剥き機を入れていたが豆の売れ行きが落ちて使わなくなった。食生活の変化を感じながらも、顧客の利便性を図りつつ今後も味の良い食材を提供していく方針だ。

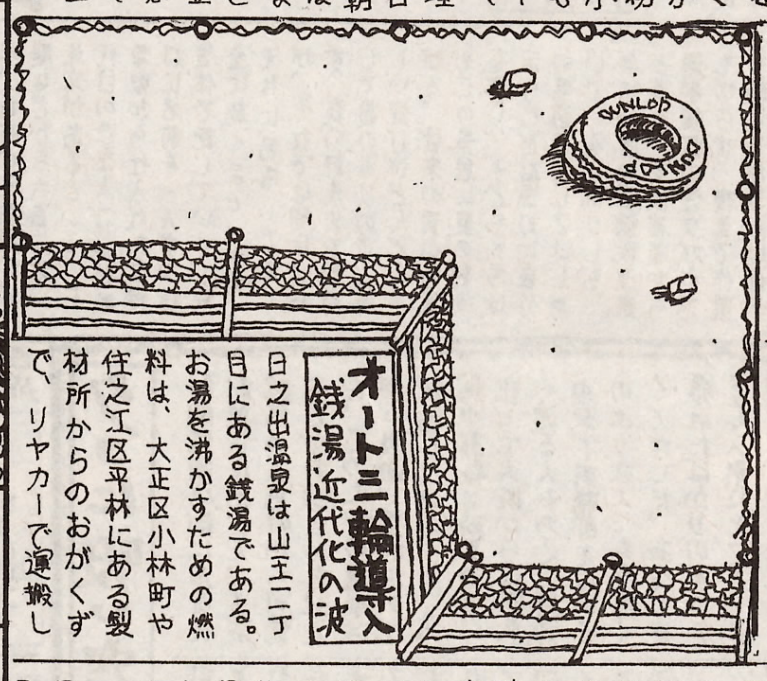
無料の新聞配布箱を設置

なるへそ新聞社(大阪市西成区)はこのほど直営の新聞配布設備「なるへそ新聞ボックス」を設置する。山王及び太子を中心に店舗前や商店街の空きスペース等十五カ所程が予定されている。無料配布で自由になるへそ新聞を持ち帰る事が出来る。

「なるへそ新聞ボックス」

発明家来年誕生予定

一人遊びが大好きで、四才から発明に目覚めた梅田哲也氏(33)。西成区での活動は、二〇一一年の新・福寿荘の展覧会が始まりである。現在来年の『0才』の展示に向けて、街中に作品を展開しようと計画している。『0才』のタイトルだが【おのおのが持っている価値観、知識、経験値などを無『0』にすることで、目の前に起こっている事の視点が大きく変わる。その現象を楽しんで欲しい】と梅田氏は熱く語る。時間と空間を素材として体験し提示する梅田氏の今後の活動に期待が膨らむ



オート三輪導入 銭湯近代化の波

日之出温泉は山王二丁目にある銭湯である。お湯を沸かすための燃料は、大正区小林町や住之江区平林にある製材所からのおがくずで、リヤカーで運搬しているが、今後オート三輪の導入を検討する。と語るのは三代目店主西野賢一郎君(7)である。日之出温泉周辺の長屋には、芸人さんがたくさんお住まいで、芸人御用達の湯として有名である。芸人の中には浪曲界の重鎮、京山幸枝若師匠、人気絶頂の女流漫才師、お浜小浜さんなど吉本や松竹の芸人さん達が舞台帰りに訪れている。芸人さんにとって舞台での【落ち】が大切だが、一番【落ち着く】所は日之出温泉のようである。

洋品店へそ生

二十一日、太子一丁目の動物園前一番街商店街の「丸亀」より出火し、大正時代に建てられた店舗が焼けた。出火原因は漏電とみられている。「丸亀」では蒸や大工職人、建設労働者向けの作業着を製造販売していたが、この火事により、商品の作業着を縫製するための型紙が焼失した。店の村井康夫さん(44)は「最近は建設現場の安全性が向上し、色のバリエーションが豊富な中国の安い既製品でお洒落や個性を競う時代になった。昔ながらの職人気質のお客さんが減っている」と語り、これを機に店舗をカジュアルものを扱う洋品店へ生まれ変わらせることを検討しているという。

期待希望 失望落胆

人は一生涯誰れも予測し得る事は不可能と言えよう。幼少の頃は期待されているという事はない。成長するに従って自分を知る様になる。少年少女時代になって始めて希望を持つと言う事に目覚める青年となり希望通りに物事は出来る事はない事も知らされると言う事に気づくのである。幾多の苦難に遭遇して意志に反して人生の流れに従う事以外出来ない事を知らされるのだ。失望して成り行くままに年を重ねる思い通りにならぬ人生に落胆してしまうのも此の年頃と言えよう。熱年となって、落胆する事のない人生は波瀾万丈の一生である事に気づいて大器晩成を以って努力するという事が何より大切な教訓となるものと思はれるのである。

木村東吉郎

アーバンカジュアル 丸亀 本3-11-2

広告主求ム

日之出温泉 あさ6時→深夜1時 山王2-7-9

Kioku 手芸館 たんす
お家のタンスに眠っている編み物を譲って下さい。
山王1-11-5(元・鈴木タンス店)

いきなきもの 小福屋
おしゃれな作務衣 別誂えします。
山王2丁目14-9

大阪市現代芸術創造事業 ex・pots 2011-2013
Breaker Project
山王・飛田・太子・新世界 地域密着型アートプロジェクト
http://breakerproject.net